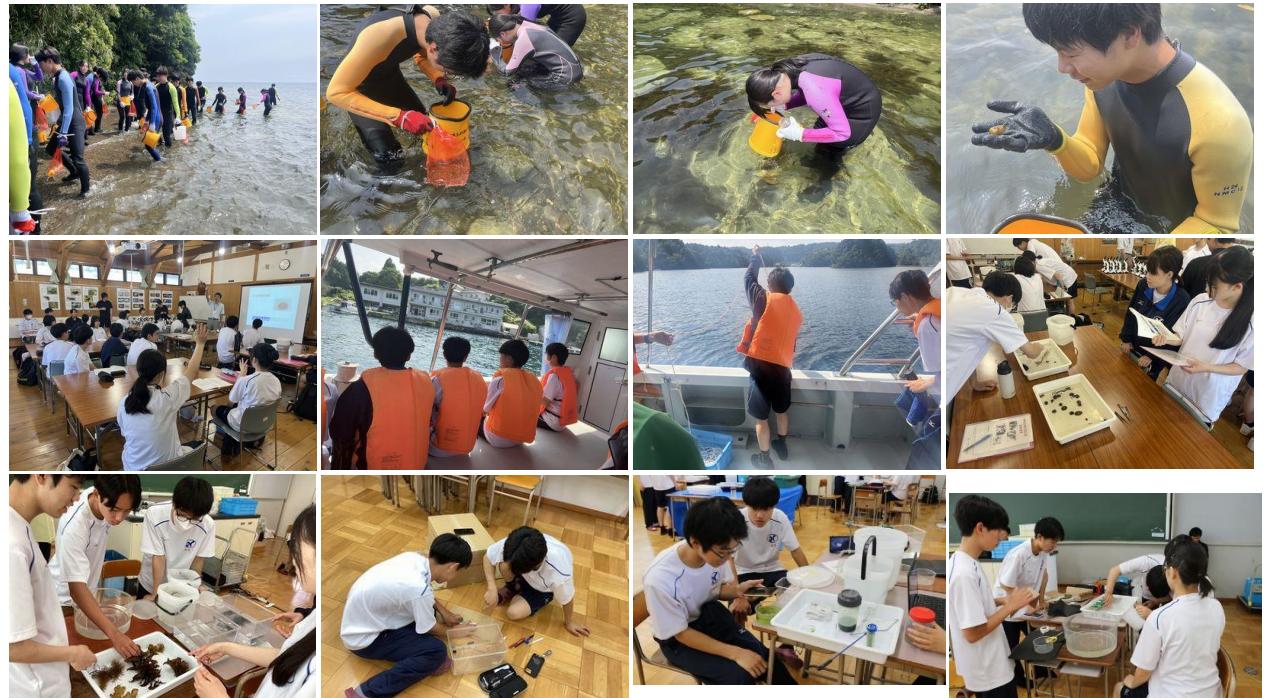




~マリンサイエンス~

7月7日（月）～10日（木）にかけて、鳳珠郡能登町字越坂のと海洋ふれあいセンターと七尾高校において1年生理数科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物について体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を見る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を行うことができました。課題研究として海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。じっくりと観察し不思議を見つけ、実験を行ってその現象が起こる仕組みを考える。たった4日間の短い時間ですが、どのグループも集中して、それぞれに納得いく内容に仕上げました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた班に景品としてサクラ貝の標本が授与されました。また、他にも金沢大学の鈴木先生からは「動物の不思議」、浦田先生からは「ウニの発生」についての講義をしていただきました。残念ながら昨年度に引き続き能登半島地震のため、宿泊を伴わない研修となりましたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。

なお、発表会を能都中学校、金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の方たちもリモートで参観しました。



生徒の感想

- マリンサイエンスを通して、自分たちで研究テーマを立て、仮説を検証するためにどのような実験を行って結論を出せばいいかという研究の流れやポイントを学ぶことができました。
- 生き物の相手をしているので想定外のことが起きたりして時間と苦労がかかりました。
- マリンサイエンスの研究では採取した生物の特徴や生態を知るためにどんな実験が必要かを考え実験できた。
- 海の生き物はテレビで見るか、水族館などで見るだけで実際にどんなところに住んでいるのかや、何を食べているかあまり知らなかったので、海の生き物の生活についても知ることができました。
- マリンサイエンスでは実際に海に入り、様々な生き物を自分の目で見ながら探して探るという普段あまりすることのできない体験をすることができ、とても良い機会だったなと思いました。
- 海の生物がどんな場所に生息しているかを実際に見ることができてとても面白かったです。

最優秀賞



「エッホ エッホ ヤドカリは
OOな貝が好きって伝えなきゃ」

研究テーマ一覧

- Re:ゼロから研究するミズクラゲと光の関係
- ムラサキウニの前は決まっている！？
～ウニの行動パターンを探る～
- Re:スponジボブに〇〇〇浄化させてみた件
～カイメンの浄化について～
- 貝の速さと腹足にはどんな関係があるのかい？
- 光大好き界隈
- エッホ エッホ
ヤドカリは〇〇な貝が好きって伝えなきゃ
- 力。～カニの自己防衛について～
- アメフラシ研究だったはずが・・・

主役は紫色の液体だった件。